

【近畿 ESD コンソーシアム・学生による ESD 活動支援】

富雄南小学校 野活動支援 活動報告書

英語教育専修 1 回生 田中天央衣

1. 日時：2023 年 9 月 21 日（木）10 時 30 分～20 時 30 分
2. 場所：奈良市青少年野外活動センター
3. 参加者：教育学専修 4 回生 木下結等
特別支援教育専修 3 回生 志原那歩
英語教育専修 2 回生 澤井咲樹
社会教育専修 2 回生 横井琴音
英語教育専修 1 回生 田中天央衣

4. 活動内容の概要

富雄南小学校の児童が行う、オリエンテーリング(ポイント立ち)・野外炊飯(カレー作り)・キャンドルファイヤーの支援を行った。

オリエンテーリングでは、センターの外での活動であった為、子供たちの安全を第1にメンバーで連携をとりながら行った。野外炊飯では、食材とかまどの2チームに分かれ、カレーを協力して作ることができた。火傷等の怪我なく終わることができた。天候の関係でキャンドルファイヤーになったが、室内でもキャンドルを囲みながら子供達と1つになって充実した時間を共有した。スタンプも大いに盛り上がり交流を深めた。

児童の状況を常に意識して把握し、広い視野を持ちながら連携を取り、主体的に行動することができた。

5. 参加学生の学び・感想

今回の野外活動では大きく2つのことについて学んだ。1つ目は野外炊飯のスキル、2つ目はサポートの重要性についてである。

まず、1つ目の野外炊飯に関して述べる。今回私は初めて野外炊飯でかまどの確認などを行った。不安な部分もあったが後輩や先生たちと確認していく中で自分が学んできた内容を実践で確認することが出来て自信がついた。今後の野外活動でもこのスキルを活かしていきたいと思う。

次に2つ目のサポートの重要性についてだが、野外活動では見えないところで色々なサポートがされている。オリエンテーリングでチェックポイントにたったり、キャンプファイヤー中に盛り上げたり、様々な見えないところでのサポートの1つ1つが野外活動を作っていると感じることが出来た。私自身4回生になりサポートの部分に力をいれつつこれからも頑張っていきたい。

(教育学専修4回生 木下結等)

今回の野外活動は初めての参加であったが、先輩後輩や先生方と協力して無事に終わることができた。当日は気温と湿度が高かったため、児童たちの様子を確認し、気になる児童には水分補給をするように声かけを行った。児童たちが常に安全に活動できるように視野を広く持つことが大切だと学んだ。野外炊飯でも、たくさんの班が同時に活動する中で進みが遅い班や役割分担通りに進められていない班に先生方や私たちがサポートに入ることで円滑に進めることが出来ていたと思う。

このように野外活動では、視野を広く持ち、必要なところに臨機応変にサポートに入ることが大切

なのだと感じた。また、児童が楽しく活動している様子を見たり、一緒にキャンドルファイヤーでスタンプをしたりすることがとても楽しかったのでこれからも積極的に野外活動支援に参加したいと思った。

(特別支援教育専修 3 回生 志原那歩)

今回の野外活動を通して、タイムスケジュール通りに進めるために臨機応変に行動することが大切だと学んだ。野外炊飯のとき、本来児童が行う部分を、時間の関係上、学生たちが行うという場面があった。私自身想定していなかった動きだったが、周りを見て行動することができた。児童たちも役割を分担し、時間を意識して行動している様子であった。次の機会では、この学びをより活かし、より学びを深めたいと思う。

(英語教育専修 2 回生 澤井咲樹)

今回の野外活動支援では、キャンプファイヤーにてスタンプを一つ担当させて頂き、やりきることが出来た。人前に立つことが苦手であったが、それがまた一つ克服できたのではないと思う。また、悪天候のため、キャンドルファイヤーに変更されたが、滞りなく実施出来た。初めての体験で不安であったが、臨機応変に対応すること、連携をとることの大切さを改めて学ぶことが出来た。

(社会科教育専修 2 回生 横井琴音)

今回の野外活動では、初めて野外炊飯でかまどを担当した。不安もありながらも、先輩や先生、子供たちと一緒に無事成功させることが出来た。火の加減や出来上がりの具合などに注意しながら行い、大きな失敗なく終わることが出来た。この経験はこの先も行う野外活動にも繋がってくると思う。天候のためキャンドルファイヤーになったが、子供たちは全力で楽しんでいた。大盛り上がりで私たちも含め全員が1つになった瞬間であった。

(英語教育専修 1 回生 田中天央衣)



キャンドルファイヤーの様子